

花はどこへいった

米内山幸孝

舞いおりた欠片は

雨に憩い

風を待つ

根は低く奏で

沈黙の蕾によりそう

光にとけ

佇み

招きの声を知る

かがり火を享け

波に惑う

朱鷺色のあゆみ

微笑みは天をきよめ

腕しなやかに蝶と遊ぶ

瞳に星の記憶

奈落の底は夢景色